



子どもたちの発想と工夫が詰まった作品を表彰 第37回 研究・創意工夫展 表彰式

11月23日、茅野市八ヶ岳総合博物館で、「第37回研究・創意工夫展」の表彰式が開催されました。

「研究・創意工夫展」では、毎年、市内の小中学生が夏休みに取り組んだ研究・工作・絵画が出品されており、今年も子どもたちのアイデアと工夫の詰まった作品が計230点集まりました。

当日は、出品された作品の中から、茅野市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査員特別賞に輝いた計15人の小学生が表彰されました。



選手の栄誉と健闘を讃えて 全国大会入賞（社交ダンス）市長報告会

11月10日、市役所で、「ねんりんピック岐阜2025ダンススポーツ交流大会」にて上位入賞した選手から結果の報告を受け、今井市長が選手を讃えました。

ねんりんピックは、60歳以上の方々を中心にあらゆる世代の人たちが、スポーツ、文化、健康と福祉を楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典です。

報告会では、選手が大会の様子について、今井市長に写真を見せながら報告する場面も見られるなど、終始和やかな雰囲気になりました。



おむすびによって生まれた縁を大切に 第10回 おむすびコンサート

10月19日、金沢小学校体育館で、松本市を拠点に活動する中高生ジャズバンド「The Big Band of Music Toys」を迎えて、「第10回おむすびコンサート」が開催されました。このコンサートは、平成26年の豪雪時に、都内のイベントに向かうToys一方向のバスが、金沢周辺で立往生した際に、付近の住民がトイレや休息地、おむすび等の食事を提供したことに対する恩返しとして始まりました。

当日は、多くの参加者が訪れる中、金沢小学校児童による合唱等も行われるなど、会場は大いに盛り上がりしました。



解いて、歩いて、里山に親しむ 永明寺山ふれあいウォーク

10月18日、永明寺山で、永明寺山ふれあいの森を創る会主催の「永明寺山ふれあいウォーク」が開催されました。

当日は、9人の参加者が集まりました。参加者はグループで協力して、山中のコースに設置された問題を解きながらゴールを目指すウォークラリーを行った後、ポウリングを参考にしたゲームにチャレンジしたり、お菓子のつかみ取りに挑戦したりして楽しみました。

イベント終盤には、きのこ汁が振る舞われ、参加者も運営側も全員で食べながら団欒し、里山を満喫しました。



新たな産地形成を目指して ハケ岳西麓りんご生産アカデミーの開講

12月24日、茅野市役所で、「ハケ岳西麓りんご生産アカデミー（通称 りんごアカデミー）」の開講式が開催されました。

茅野市を含むハケ岳西麓地域は、気候温暖化の進行の中、標高が高いことで、冷涼な気候であるとともに、首都圏や中京圏に近いという立地の良さなど、将来に向けて新たなりんご産地としてのアドバンテージがあります。りんごアカデミーは、これらの利点を生かして、新規参加者を確保し、新たな産地形成を図る目的で設立されました。

アカデミー開講前に長野県果樹試験場で実施された事前勉強会では、25人の参加者が集まり、開講時点では39人の受講希望者が集まるなど関心の高さが伺えます。

開講式では、今井市長も「りんごの産地になることを目指したい」と話しており、新たな産地形成の一步として期待が高まります。



子どもたちの調べる力は無限大 第19回茅野市小中高校生調べる学習コンクール表彰式

11月7日、茅野市役所で、「第19回茅野市小中高校生調べる学習コンクール表彰式」が開催され、入賞者（審査員特別賞を除く）が今井市長らから表彰状と盾を受け取りました。

今年は、各校へ出品された作品1,397点から、学校推薦を受けた作品128点が審査され、市長賞、教育委員会賞、審査委員長賞、読書の森読りーむinちの賞、縄文賞、茅野市図書館賞、こども読書活動応援センター賞にそれぞれ選ばれた計13作品13人の皆さんが表彰されました。



親しみが溢れる美しい森になることを目指して 市民の森第17回育林祭

10月25日、市民の森で、市民の森を創る会が主催する「市民の森第17回育林祭」が開催されました。

当日は、市民や市内企業など計23人が参加し、市民の森南コースの散策や植樹体験、豚汁会を行いました。

参加者たちは、市民の森を創る会の会員による樹木や森林整備箇所などの解説を聞きながら散策を楽しみ、到着した市民の池周辺で、ヤマモミジ7本、ヤマボウシ2本、市民の森内で確保した苗木数本を、「市民の森がたくさんの方が訪れ、憩える場所となること」を願って植樹しました。